



1928 - 2011

THE 80TH ANNIVERSARY

全国高校卓球 80年誌



公益財団法人
全国高等学校体育連盟
卓球専門部

3大名将からの メッセージ

鼎談 今井良春・吉田安夫・近藤欽司

高校卓球界の長い歴史の中で、
その圧倒的な実績で「名将」と呼ばれる3人の指導者がいる。
今井良春・吉田安夫・近藤欽司。
長きにわたる指導経験の中で数多くの全国優勝と
多くの日本代表やチャンピオンを育てた3人。
3人が一堂に会し、
その指導を振り返りながら、
後ろへ続く指導者や選手たちにメッセージを贈る。



左から近藤欽司氏、吉田安夫氏、今井良春氏
(2010年11月撮影 東山高校 校長室にて)



◎今井良春

いまいよしはる／昭和8年2月22日、大阪府出身。東山高校卓球部名誉監督・元世界選手権日本男子監督。昭和30年に東山高校の教諭に着任。同校のインターハイ連続出場62回（平成24年現在）のうち、監督として45回出場。学校対抗で7回優勝。1969年世界選手権男子単3位の田阪登紀夫をはじめ、世界選手権代表、国内トップクラスの選手を多く輩出してきた

——先生たちが指導されている時というのは、チーム構成で、プレースタイルを考えて、左利きとか、表ソフト、カットというのは考えたわけですね。

今井 吉田さんは左（利き）が好きだね（笑）。

吉田 左とカットが好きだね。今の時代、カットマンで強いのがいたら勝てますね。

今井 やはり強打がないとカットには勝てない。女子でもスマッシュが打てなかったらカットには勝てない。

——吉田さんは試合を見に行っても、どうしても左利きに目がいってしまうのでしょうか。

吉田 結局ダブルスを考えると左がどうしてもほしくなるんだよね。タイトルを獲った時も、初めての左利きの選手は金原だね。田子（光政）・金原（栄一）組（昭和51年複優勝）。全国区でいったら、渡辺武弘（昭和54年三冠）、齋藤清（昭和55年三冠）。

今井 東山に来てから戦型を変えた選手で橘（正彦）という選手がいた。大岡（巖）、村上（博巳）と一緒にの代。村上が左のペンで、大岡が（シェーク）表・表の速攻で、近畿チャンピオンの増田（博泰）というのが右のペンドライブ、だからカットがほしかったわけ。それで、橘を高校に入ってからロングマンからカットマンにした。戦型の変更というのはありえると思いますよ。それに、東山から中央大に進んだ小堀（守彦）、彼は元々はペンだったのを、東山に来てからシェークに変えた。全日本でランクに入るまでになったしね。

近藤 高橋とわ子（旧姓下田）は、1年の時はカットマンでインターハイに出たんですよ。当時は四天王寺に浜田（美保）とかがいて、四天王寺を倒さないとインターハイでは勝てないということで、2年の時に下田をドライブマンに変えた。用具を変えさせたというのはありますよね。スポンジの厚さを変えたり。

——選手を選ぶ時の好み、プレースタイルなどの傾向はあるんでしょうか？

近藤 プレースタイルよりも、中学校の先生との信頼関係があり、頼まれるので、選ばせませんね。だからうちは色々なタイプの選手がいましたね。

今井 うちは表（ソフト）が集まりやすい。やはり田阪（登紀夫／昭和40年優勝・69年世界選手権3位）にあこがれるのでしょうか。今ベルギーにいる佐藤大輔、小鷹（好夫）とか。結構表ソフトはいますよ。あと野平（直孝）ね。うちは前陣速攻が多いからね。ただ、好きとかではなく、全体的にそういう人が比較的好い成績を取っていたということだね。

吉田 青森にはペンホルダーが多かった。今は少なくなってきたけど、私が（青森に）行った頃はペンとシェークは互角だった。中学

団体戦で上に行ったチームの選手たちは、シングルスから消えた。
今井 村上是疲れ切って、冷やうどんしか食えなかった。今から考えたら、あれは無茶だわ。6単1複では、エースがいるところが強い。昭和56年の上尾インターハイではうちには山本恒安（昭和56年優勝）がいたのでラストまで回せば勝てた。9シングルスではいたところで番狂わせが出る。難しい試合方式だった。

吉田 4単1複ならダブルスの強いチームが強い。ダブルスの1点が大きいの、エースが3点のうち2点取る。

今井 今の中学生は6人制をとっていてエースはダブルスに出ないから、ダブルスを経験しているのはエースではない。エースがダブルスを経験していないこの試合方式は困る。中学も4単1複で、エースが2点出るほうが良いと思う。団体戦の中にペンを入れるとか表ソフトを入れるというやり方を採用した時期もあったけど、それを言い出した荻村さん（伊智朗／元日本卓球協会専務理事・元国際卓球連盟会長）が亡くなったら途端にやめたけど、あのシステムはあったほうが良かった。

吉田 カットも入れたほうが良い。

——中国ではまだそのルールが残ってますね。

今井 中国には伝統として、カットマンが男子にも女子にもいる。そこで、カット向けの用具ができたり、攻撃用の用具ができたりする。

——カットを教えられる指導者、ペンホルダーを教えられる指導者もいなくなりますね。

吉田 中国には、王皓、馬琳、韓国には柳承敏、李廷佑とか、まだペンが活躍している。今井さんが言うように、団体戦の中にペンホルダーを入れる、カットを入れるという案は協会に残したほうが良いと思う。そうでないと日本代表でも特定のタイプに弱い人が出てくる。

今井 見ると、表ソフトのボールを苦手になっている選手が最近が多い。カットマンがいなくなると、カットが打てない選手が増えてしまう。

吉田 今の高校生はカットが打てない。



<掲載内容>

◎全国高等学校卓球選手権大会(第71回~75回)

- ◆男子学校対抗・女子学校対抗
出場校一覧
3回戦(ベスト16)からの記録
学校対抗優秀選手
学校対抗特別表彰校(出場回数が連続10回以上、通算20回以上)
- ◆男子ダブルス・女子ダブルス
4回戦(ベスト16)からの記録
- ◆男子シングルス・女子シングルス
4回戦(ベスト32)からの記録

◎国民体育大会(第57回~第61回)

少年男子の部および少女女子の部の決勝トーナメントと
ベスト8の記録

10年のあゆみ

2002~2006

前半

◎全日本卓球選手権大会(平成14年~18年度)

- ◆ジュニア男子・ジュニア女子
準々決勝からの記録
- ◆男子シングルス・女子シングルス
高校生でベスト16以上に入った選手
- ◆他の種目の主な成績
高校生で男子ダブルス、女子ダブルス、混合ダブルスにおいて
ベスト4以上の成績の選手

※選手の所属については大会選手登録の所属で記載

◎全国高等学校選抜卓球大会(平成14年~18年度)

- ◆男子学校対抗・女子学校対抗
出場校一覧
決勝トーナメントの記録
学校対抗優秀選手
学校対抗特別表彰校(出場回数が連続10回以上、通算20回以上)
- ◆男子シングルス(2部)・女子シングルス(2部)
決勝トーナメントの記録

10年のあゆみ—前半

平成18年度(2006)

第75回 全国高等学校卓球選手権大会

8月6日~11日 大阪府・大阪市 大阪市中央体育館

06総体THE近畿

男子学校対抗 青森山田、2年連続9回目の優勝

3回戦 愛工大名電、2回戦で富田に敗退

青森山田 3-0 日本航空
清水国際 3-1 明豊
東山 3-0 杜若
上宮 3-0 札幌龍谷

富田 3-0 れいめい
玉野光南 3-1 湘南工大附
宮崎商業 3-1 狭山ヶ丘
仙台育英 3-0 九州学院

準々決勝

青森山田 3-0 清水国際
東山 3-0 上野宮
富田 3-0 玉野光南
仙台育英 3-0 宮崎商業

準決勝

青森山田 3-0 東山

大矢英俊 3 (-10, 9, 9, 9) 1 笠原弘光
高木和卓 3 (8, 9, -9, 4) 1 足立智哉
高木和卓 3 (8, 5, -6, 6) 1 笠原弘光
水谷隼 () 藤本光
水谷隼 () 藤本光
松平賢二 () 石井匠

仙台育英 3-1 富田

軽部隆介 3 (12, 9, 5) 0 李萌
明晨 3 (-9, 3, 7, 7) 1 北村翔
軽部隆介 2 (-6, 9, 9, -5, -5) 3 澤口平峻
大森善文 () 藤田峻
遠藤佳祐 3 (-9, -7, 10, 6, 5) 2 澤口平峻
大森善文 () 藤田峻

決勝

青森山田 3-0 仙台育英

水谷隼 3 (6, 8, 5) 0 軽部隆介
松平賢二 3 (13, 8, 8) 0 平屋広大
高木和卓 3 (8, 11, 3) 0 軽部隆介
水谷隼 () 大森善文
高木和卓 () 明晨
大矢英俊 () 遠藤佳祐



2回戦 富田 対 愛工大名電(奥)



初出場 日本航空3回戦進出



決勝 青森山田ダブルスに勝利し、優勝を決める

女子学校対抗 秀光が3年連続7回目の優勝

3回戦

秀光 3-0 日星
近畿大附 3-2 遊学館
奈良女子 3-2 清水国際
日南学園 3-1 正智深谷

青森山田 3-0 旭川実業
明誠 3-2 市川
富田 3-2 四天王寺
尽誠学園 3-0 埼玉栄

準々決勝

秀光 3-1 近畿大附
日南学園 3-1 奈良女子
青森山田 3-1 明誠
富田 3-2 尽誠学園

準決勝

秀光 3-0 日南学園

王曼 3 (8, 6, 4) 0 加藤亜理沙
阿部奈々 3 (4, 6, 7) 0 木田恵子
照井萌美 3 (6, 2, 9) 0 狩俣道乃
石垣優香 () 加藤亜理沙
石垣優香 () 天野友未
照井萌美 () 孟雅

青森山田 3-1 富田

福原愛 3 (7, 6, 2) 0 石川友里乃
池田好美 3 (-9, 7, 5, -9, 8) 2 大野茜
福原愛 1 (-5, 8, -6, -10) 3 大野茜
原ちひろ () 中村薫子
李明明 3 (13, 8, 9) 0 中村薫子
原ちひろ () 浦千鶴

決勝

秀光 3-2 青森山田

阿部奈々 1 (-4, 9, -9, -9) 3 李明明
王曼 3 (5, 3, 3) 0 池田好美
照井萌美 3 (6, 4, -6, 9) 1 福原愛
石垣優香 () 石川美希
石垣優香 2 (9, -10, 7, 3, -8) 3 福原愛
照井萌美 3 (9, 8, 6) 0 原ちひろ



対 尽誠学園戦勝利後の富田ベンチ



ベスト8に入賞した近畿大附の増本(左)と森田



女子決勝、照井・石垣(秀光)のダブルス

出場校一覧

県名	男子	女子
北海道	尚志学園	旭川実業
北海道	札幌龍谷	札幌大谷
青森	青森山田	青森山田
岩手	専大北上	盛岡女子
宮城	仙台育英	秀光
秋田	秋田	秋田商業
山形	鶴岡東	山形学院
福島	帝京安積	小高工業
茨城	波崎柳川	明秀日立
栃木	作新学院	真岡女子
群馬	樹徳	吾妻
埼玉	狭山ヶ丘	正智深谷
埼玉	埼玉栄	埼玉栄
千葉	木更津総合	木更津総合
千葉		和洋女子
東京	実践学園	淑徳学園
東京	日大豊山	
神奈川	湘南工大附	横浜隼人
神奈川	横浜商業	横浜商業
山梨	日本航空	日本航空
新潟	新潟産大附	新潟青陵
長野	長野商業	松商学園
富山	高岡龍谷	富山商業
石川	遊学館	遊学館
福井	敦賀	福井商業
静岡	清水国際	清水国際
愛知	愛工大名電	桜丘
愛知	杜若	愛み大瑞穂
三重	白子	白子
岐阜	富田	富田
滋賀	膳所	八幡商業
京都	東山	日星
大阪	上宮	四天王寺
大阪	大阪桐蔭	近畿大附
大阪	金光大阪	淀之水
兵庫	報徳学園	市川
兵庫	滝川第二	姫路商業
奈良	平城	奈良女子
和歌山	県和歌山商	初芝橋本
鳥取	鳥取育英	鳥取敬愛
島根	明誠	明誠
岡山	玉野光南	山陽女子
広島	広島商業	府中東
山口	徳山高専	岩国商業
香川	尽誠学園	尽誠学園
徳島	徳島商業	徳島商業
愛媛	今治南	新田
高知	明德義塾	土佐女子
福岡	柳川	中村学園女
佐賀	北陵	佐賀清和
長崎	鎮西学院	鎮西学院
熊本	九州学院	慶誠
大分	明豊	東九州龍谷
宮崎	宮崎商業	日南学園
鹿児島	れいめい	鹿児島城西
沖縄	普天間	普天間

◎学校対抗優秀選手

殊勲賞 男子／水谷 隼(青森山田)
女子／照井萌美(秀光)

敢闘賞 男子／軽部隆介(仙台育英)
女子／福原 愛(青森山田)

◎学校対抗特別表彰

連続20回 男子／愛工大名電(愛知) 女子／奈良女子(奈良)

連続10回 男子／青森山田(青森) 男子／狭山ヶ丘(埼玉)
女子／和洋女子(千葉)

通算30回 男子／柳川(福岡)

通算20回 女子／淀之水(大阪)



奈良女子、逆転で清水国際を下し、ベスト8



東山、地元の大応援をうけた上宮を振り切る



男子学校対抗2位 仙台育英 軽部・大森(右)のダブルス



女子学校対抗3位 日南学園 加藤(左)・狩俣のダブルス

男子ダブルス 高木和・水谷(青森山田)が2連覇

4回戦 (ベスト16より)

高木和・水谷 (青森山田)	3-0	大久保・中島 (愛工大名電)
猪瀬・湯本 (長野商業)	3-1	北村・藤田 (富田)
足立・笠原 (東山)	3-1	伊積・盛田 (遊学館)
渡井・池田 (清水国際)	3-1	滝浦一・滝浦直 (一関高専)
軽部・明 (仙台育英)	3-0	和田・高垣 (明德義塾)
胡・横幕 (狭山ヶ丘)	3-1	竹之内・野口 (千葉経大附)
甲斐・江藤 (明豊)	3-1	浅沼・田代 (玉野光南)
大矢・松平 (青森山田)	3-2	岩村・濱川 (上宮)

女子ダブルス 福原・李(青森山田)に栄冠

4回戦 (ベスト16より)

川畑・高 (青森山田)	3-1	川口・有田 (新田)
高・富高 (明德義塾)	3-0	川村・玉石 (四天王寺)
福原・李 (就実)	3-1	西東・後藤 (旭川実業)
立岩・秋草 (淑徳学園)	3-1	若宮・前田 (尽誠学園)
照井・石垣 (秀光)	3-1	明石・大野 (富田)
中島・藤田 (横浜準人)	3-2	中山・藤井 (四天王寺)
藤田・徐 (中村学園女)	3-0	赤塚・林 (新潟青陵)
宇土・中島 (就実)	3-0	渡辺・原田 (武蔵野)

準々決勝

高木和・卓 3 (6, 6, 6) 0	猪瀬大晃
水谷 隼 (青森山田)	湯本晃 (長野商業)
足立智哉 3 (-7, -4, 4, 8, 14) 2	渡井伯和
笠原弘光 (東山)	池田和正 (清水国際)
軽部隆介 3 (4, 6, 11) 0	胡彦广
明 (仙台育英)	横幕勝治 (狭山ヶ丘)
甲斐義和 3 (9, 8, -2, 9) 1	大矢英俊
江藤 遼 (明豊)	松平賢二 (青森山田)



男子2位 軽部・明(仙台育英)

準決勝

高木和・卓 3 (8, -4, -11, 7, 9) 2	足立智哉
水谷 隼 (青森山田)	笠原弘光 (東山)
軽部隆介 3 (-3, 9, 8, 4) 1	甲斐義和
明 (仙台育英)	江藤 遼 (明豊)



女子2位 宇土・中島(就実)

決勝

高木和・卓 3 (10, 5, 8) 0	軽部隆介
水谷 隼 (青森山田)	明 (仙台育英)



男子優勝 高木和・水谷(青森山田)

準々決勝

川畑 舞 3 (-9, 6, 8, 6) 1	高 曉晨
高 瑜瑶 (秀光)	富 高由夏 (佐賀清和)
福原 愛 3 (12, 6, 6) 0	立岩美季
李 明明 (青森山田)	秋草友里 (淑徳学園)
照井萌美 3 (4, 5, 3) 0	中島未早希
石垣優香 (秀光)	藤田麻紀子 (横浜準人)
宇土弘恵 3 (7, -11, 6, 13) 1	藤田ゆかり
中島慶子 (就実)	徐 珍 (中村学園女)

準決勝

福原 愛 3 (6, 7, 8) 0	川畑 舞
李 明明 (青森山田)	高 瑜瑶 (秀光)
宇土弘恵 3 (-8, 7, -7, 10, 6) 2	照井萌美
中島慶子 (就実)	石垣優香 (秀光)

決勝

福原 愛 3 (9, 9, 5) 0	宇土弘恵
李 明明 (青森山田)	中島慶子 (就実)



女子優勝 福原・李(青森山田)